

科目名	遊び文化論					単位	2.0
担当教員	丹羽 丈司						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	2432

●授業のテーマ

生活を豊かにする遊びとレクリエーションの支援

●到達目標

遊びやレクリエーションは私たちの生活を豊かにするものです。それらの歴史や教育・福祉分野での活用方法を学ぶとともに、支援方法を理解する。

●学習内容(授業概要)

健康で豊かな生活を送ったり、学習の題材として遊びやレクリエーションはその中心的課題であり、不可欠のものである。ここではその概要や支援について学習する。

●学習内容(授業計画)

1. 楽しさの追求 (1) 生きることと楽しさ
2. (2) 福祉レクと楽しさ
3. 遊び・レク理論の紹介 (1) 遊び・レクを現象としてとらえる
4. (2) 遊びの理論：ホイジンガーとカイヨワ
5. (3) 楽しさに関する様々な理論
6. 保育・教育と遊び・レク (1) 両親や友達のかかわり
7. (2) 子どもの発育と遊び・レク支援
8. (3) 夢中になって(心の成長と)・・・情緒的意義
9. (4) 現代社会と遊び・レク
10. 遊びの支援者や福祉レクリエーション・ワーカーの役割と技術
11. 楽しさ追求の支援 (1) APIEプロセスとTRサービスモデル
12. (2) 行動変容に向けた効果的な支援
13. 福祉分野での支援 (1) 高齢者への実践例
14. (2) 障がい者・障がい児への実践例
15. (3) 保育園・幼稚園や子育てサークルでの実践例、まとめ

●準備学習・事後学習の内容

子ども時代の遊びや、現在自身が遊びやレクリエーションと考えて活動していることについて、その価値についてしっかり考えて授業に臨む。

●成績評価方法・基準

試験 60%、平常点 40%。

●テキスト(必携)

楽しさの追求を支える理論と支援の方法 出版社：中央法規 日本レクリエーション協会

●参考文献／その他
授業時に指示する。

●履修上の注意
ノートをしっかり取る。